

ナポレオンの皇帝即位の報を受け、
ベートーヴェンは楽譜を破り捨てたという逸話も
「ベートーヴェン」の副題

新たな世界を切り拓く！

ルートヴィヒ・ファン・

ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven (1770-1827)

B

2024

JANUARY

[第2003回]



クラシック音楽を代表する作曲家、ベートーヴェン。とりわけその交響曲はいずれも音楽史に刻まれるような記念碑的な作品だが、《第3番「英雄」》はいよいよ「ベートーヴェンらしさ」が爆発しはじめた時期に書かれた。それまでの作曲家たちによる交響曲とは比較にならないほど拡大した、力強く劇的な作風が確立され、こののちも次々と傑作が生み出された。

ベートーヴェンとナポレオン

新しい音楽を作るという自負のあったベートーヴェン。同じく新しい時代を切り拓く者としてナポレオンを大きく評価し、彼の名を記した《交響曲第3番》の創作も進めていた。しかし、ナポレオンの皇帝即位によって期待は裏切られ、希望はたちまち怒りに変わったという。ベートーヴェンというと、怒りをもエネルギーに昇華するようなイメージがあるが、それは音楽室にあった眼光するどい肖像だけでなく、《英雄》のタイトルをめぐるこのエピソードも、一役買っているにちがいない。